

創業 30 周年記念事業

TCI ベンチャーサミット

2018 年 10 月 12 日(金) 13:30~17:00

場所 つくば研究支援センター(つくば市千現 2-1-6)

つくば研究支援センターでは、創業 30 周年を記念して、つくば発ベンチャーの革新的技術や新製品を紹介する「TCI ベンチャーサミット」を開催します。



Program

13:30~16:00 (14:45~14:55 休憩)

ベンチャー企業 12 社によるプレゼン会

16:00~17:00

懇親会 (名刺交換・商談会)

※軽食をご用意しています

発表企業・内容

- ◇赤外線カラー暗視技術で“真っ暗闇でもカラー撮影で安心安全”を実現 (株)ナノルクス
- ◇作業者がすぐに使いこなせる協働型の運搬ロボット「サウザー」 (株)D o o g
- ◇接触検査から非接触検査へ 聴く技術から見る技術へ つくばテクノロジー(株)
- ◇レドックスフロー電池を通して CO2 削減に貢献します LEシステム(株)
- ◇ハードもソフトもクラウドも、ふわっとした思いつきをカタチに！ (株)ノエックス
- ◇がん免疫療法のパイオニア セルメディシン(株)
- ◇株式会社エアメンブレンは、グラフェンの夢を実現します (株)エアメンブレン
- ◇CNT の分散と精製技術による低温下蓄電性熱電変換素子の開発 (株)Nextコロイド分散凝集技術研究所
- ◇Making the invisible visible! (株)SteraVision
- ◇超高精度レーザーパターンを可能にするホログラム・レンズ技術 (株)スペースフォトン
- ◇超小型衛星の設計開発運用の知見と経験を活かした新時代の宇宙利用 (株)ワープスペース
- ◇純国産の RNA ベクター技術を使った遺伝子治療や再生医療の実用化 ときわバイオ(株)

- 主 催 株式会社つくば研究支援センター
- 後 援 茨城県・日刊工業新聞社茨城支局
- 参加費 無料
- 場 所 つくば研究支援センター 研修室A

■申し込み方法

下記お申込みフォームへ

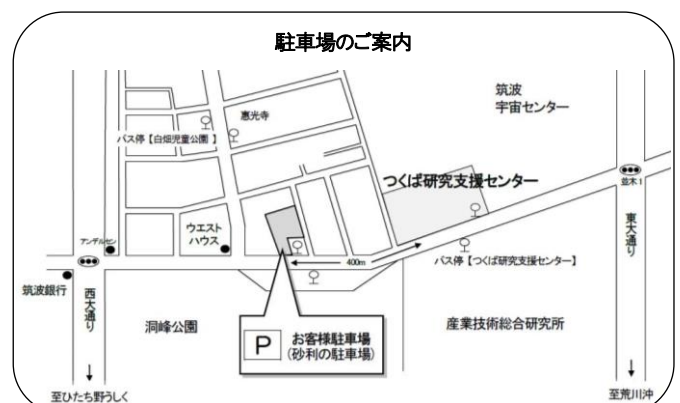
<https://www.tsukuba-tci.co.jp/entryform/tciventuresummit>

【お問い合わせ先】

(株)つくば研究支援センター ベンチャー支援部
担当：石塚・早瀬・大月 TEL:029-858-6000

【交通案内】 ホームページからご覧ください

<https://www.tsukuba-tci.co.jp/company/traffic>



発表企業 株式会社ナノルクス

ナノルクス社が取り組むのは、産総研で開発された「赤外線カラー暗視技術」の事業化です。カラー暗視技術は、これまでモノクロでしかとらえられなかった真っ暗闇での映像を、赤外線のみでカラー撮影を可能とする世界唯一の汎用映像技術です。多くの場合、「暗くて見えない」というのは自然現象としてあきらめられてしまっていますが、実は、夜間の交通事故や暗闇での犯罪など大きな社会的問題を引き起こしています。カラー暗視技術を用いれば、真っ暗闇でも昼間のようなカラー撮影ができ、暗くて見えなくて困っている人々の役に立つことができます。

URL : <http://www.nanolux.co.jp/>



作業者がすぐに使いこなせる協働型の運搬ロボット「サウザー」

発表企業 株式会社D○○g

前方の人や物に追従して物を運ぶロボット「サウザー」を開発・製造しています。

サウザーは、120kgの荷物を最大速度7.5km/hで運搬することができます。レーザセンサで得られた周囲270度の距離データを、独自のアルゴリズムで分析することにより、安全・俊敏な走行を実現しています。シンプル操作で使用者に特別な教育が不要なため、導入が容易で多くの物流・製造業の現場に導入が進んでおり、人手不足の解消・作業者の負担軽減に貢献しています。

URL : <http://jp.doog-inc.com/>



接触検査から非接触検査へ 聴く技術から見る技術へ

発表企業 つくばテクノロジー株式会社

弊社は2005年7月に設立し、2007年11月に産業技術総合研究所の技術移転ベンチャーに認定され、その最先端技術を世の中に普及させるため、事業を展開しております。

製品としては、レーザー超音波可視化検査装置、小型冷陰極X線検査装置、個人線量計などの開発、製造、販売を行っております。これら製品の特長は、産業・社会インフラを誰でも現場で画像により即座に欠陥を検査できる装置となっており、世界初、世界トップの非破壊検査装置を開発・販売しています。

それにより、つくばから世界へ、安全安心を届けてまいります。

URL : <http://www.tsukubatech.co.jp/>



レドックスフロー電池を通してCO2削減に貢献します

発表企業 LEシステム株式会社

CO2削減には再生可能エネルギー（再生エネ）の導入促進が叫ばれており、再生エネ導入には蓄電池が必須となります。当社は蓄電池の中でも大型化、再生エネの変動吸収及び安全面で最適なレドックスフロー（RF）電池に着目し開発を進めております。特徴はレアメタルであるバナジウム（V）を産業廃棄物である重油燃焼煤から回収する技術、回収したVからRF電池用電解液を安価に製造する技術及びRF電池スタックを含む蓄電池システムを開発する技術です。量産体制を構築することにより2019年度からの市場投入を検討中です。

URL : <https://www.lesys.jp/>



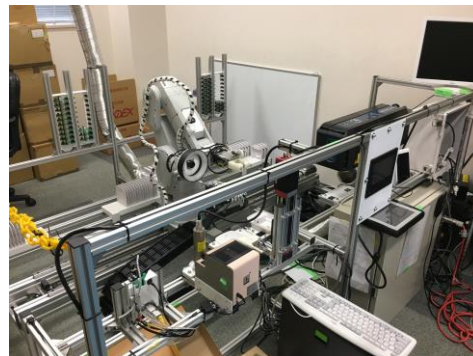
VANADIUM REDOX FLOW BATTERY

発表企業 株式会社ノエクス

メーカーではない事業会社やベンチャーなどのものづくりの経験がない方でもアイデアを持ち込んでいただければ、製品として、ハードウェア、ソフト（FW）、クラウドサービスも含めて提供し一緒に事業を作り上げていきます。

電子回路設計、ファームウェア開発、筐体開発、クラウドサーバーのソフト開発と運用など、社内で行っており、設計・開発を行った製品の自動製造装置の開発・製造まで手がけています。さらに、自動製造装置（生産ライン）を社内に設置して、小ロット生産から大規模生産まで量産・出荷まで可能にしています。

URL：<https://noex-inc.co.jp/>

**がん免疫療法のパイオニア****発表企業 セルメディシン株式会社**

がんの手術で摘出し病理診断後に残ったがん組織を材料に、がん免疫療法のための“自家がんワクチン”の製造サービスを提供しています。これは肝臓がんでは明瞭な術後再発予防効果があるエビデンスレベルの高い治療法です。脳腫瘍、骨転移乳がん、腎盂がんなど、難治性の固形がんの術後治療に期待でき、自由診療であれば国内の70以上のクリニックにて受診できます。自家脳腫瘍ワクチンは、つくば国際戦略総合特区の開発課題の一つに採択されており、7大学病院以上の施設と共同で治療を行おうとしています。

URL：<http://cell-medicine.com/>

**株式会社エアメンブレンは、グラフェンの夢を実現します****発表企業 株式会社エアメンブレン**

グラフェンは炭素からなる最も薄い膜で、物質最高の電気特性、熱特性、機械特性を有する次世代材料です。当社は独自開発した世界最高スループットのプラズマCVD法を用いて、不純物の混入を極限まで抑制し、銅箔上に1層および2層グラフェンの選択合成が可能です。合成したグラフェンを各種基材（PET、ガラスなど）へ転写積層して、最大A4サイズの透明導電フィルムを製造し、販売を行っています。2層グラフェン/PETで透過率94%以上、シート抵抗300Ω以下です。グラフェンをシリコンウェハに積層したデバイス用材料も販売しています。

URL：<http://www.airmembrane.co.jp/>



A4サイズグラフェン透明導電フィルム
(PET基材)

CNTの分散と精製技術による低温下蓄電性熱電変換素子の開発**発表企業 株式会社Next コロイド分散凝集技術研究所**

CNTの切断を最小限に押さえ、溶媒中に均一に分散することは、非常に困難です。弊社では、様々な特徴を持ったCNTを界面活性剤と高圧乳化装置を用い、その機能性に適した均一分散系を実現することに成功しました。

現在、その均一分散技術により、温度変化に対応し得る低温下熱電変換素子を開発中です。これは蓄電性を付与することによる春夏秋冬などの低温下の不安定な温度変化の中でも実現性のある低温下蓄電性熱電変換素子であると考えています。

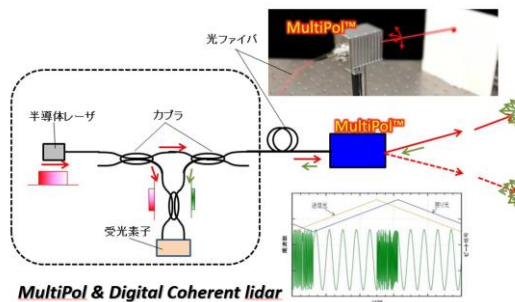
URL：<http://www.nextcdc.co.jp/company/>



発表企業 株式会社 SteraVision

自動運転やロボットビジョンのキーとなる、人の“眼”の動きを取り入れた”決定版”となるソリッドステートスキャナー (MultiPol と命名) と煙の先を見ることが出来る”ぶちぎり”の性能を持つ Lidar (デジタルコヒーレント Lidar と命名) を提供します。MultiPol は、人間の視覚のように見たいところ、重要なところを、高密度・高頻度でスキャンできる重みづけしたスキャンが可能です。デジタルコヒーレント Lidar は、霧、雨などでも遠くまで距離測定が可能であり、太陽光や対向車などの外部の光の影響も受けにくいセンサーです。

URL : <http://steravision.com/>



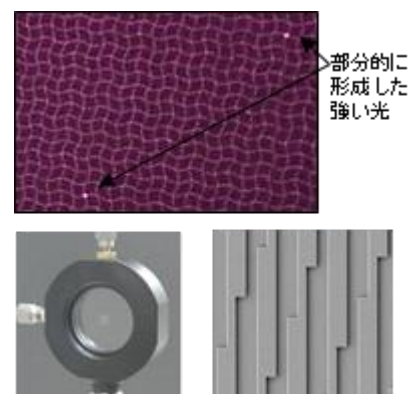
超高精度レーザパターンを可能にするホログラム・レンズ技術

発表企業 株式会社スペースフォトン

ホログラム・レンズ (回折光学素子 : DOE) は、設計により焦点位置や集光形状を自在に成形できる特殊なレンズです。例えば、直線や 1000 点配列、長焦点深度集光などのパターンを生成します。

ホログラム・レンズの設計には独自開発したソフトウェアを利用します。当社のホログラム・レンズは、真ん中に強い光が残る「0次光」が出現せず、光の均一性、または必要に応じて強弱をつけられるのが特徴です。主な用途は、3次元形状計測用パターン投影や、FA 機器・ロボット用位置決めマーク表示、光の金型としてレーザー一括加工などがあります。

URL : <http://www.spacephoton.jp/>



超小型衛星の設計開発運用の知見と経験を活かした新時代の宇宙利用

発表企業 株式会社ワープスペース

超小型衛星コンポーネント、衛星管制用アンテナ制御装置の設計開発と、それらを活用して大量生産した CubeSat クラス (10cm ~ 30cm) の超小型衛星によるシステムの提案を行っています。IoT 技術を導入した衛星管制装置は、試用ユーザから高い評価を得ており、量産に向けた最終段階です。また、JAXA と契約して開発している 3cm 角の 3 軸姿勢制御装置は国内外から一刻も早い販売を望む声が上がっています。これらのコア技術を用いた大量の CubeSat と衛星管制装置ネットワークによる地表、海上、宙域のシームレスな世界の構築を進めています。

URL : <https://warpspace.jp/>



純国産の RNA ベクター技術を使った遺伝子治療や再生医療の実用化

発表企業 ときわバイオ株式会社

iPS 細胞の発見により、患者様の皮膚や血液からさまざまな組織を作り出す「再生医療」が注目されています。また、1990 年に臨床試験が始まった「遺伝子治療」は、30 年近い年月を経て、欧米では次々と実用化されています。これらの先端医療に共通して使われているのが、ヒトの細胞に遺伝子を導入して発現させるために必要な「ベクター」という技術です。ときわバイオ株式会社は、(国) 産業技術総合研究所で開発された純国産の技術「ステルス型 RNA ベクター」を基盤とした、再生医療や遺伝子治療の実用化を目指しています。

URL : <http://www.tokiwa-bio.com/Japanese/tokiwa-bio.com/index.html>

